

《担当者名》奥田 かおり k-okuda@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

クリニカルソーシャルワークではこれまで学んできたソーシャルワークの知の統合に焦点を当て、グループ療法、認知行動療法、当事者研究、専門的自己の活用の視点を学ぶ。ソーシャルワークの実践現場、特にメンタルヘルスの領域で必要となる知識について学ぶ。学生は、様々な場面でクライアントと関わるために必要な高度なスキルと方法を学ぶことが期待される。専門的な自己の活用に重点を置き、人間の行動を考える上で、生物-心理-社会-スピリチュアルと生態-システムモデルを統合する。事例を使ったクリニカルスキルの習得、文献に関するディスカッションで学びを深める。

<https://onlinegrad.syracuse.edu/social-work/academics/course-descriptions/#swk-733>

【学修目標】

1. クリニカルソーシャルワークについて理解する。
2. 臨床の現場で行われている様々な療法について学ぶ。
3. 実践的なスキルを習得する（主にグループワーク）。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション クリニカルソーシャルワークとは？	受講上の注意について理解する。 クリニカルソーシャルワークの定義について学ぶ。	奥田
2	クリニカルソーシャルワークの歴史	米国におけるクリニカルソーシャルワークの発展の変遷を学ぶ。 その他の欧米諸国でのクリニカルソーシャルワークの教育、実践について学ぶ。	奥田
3	クリニカルソーシャルワーク アセスメントスキル	生物-心理-社会-スピリチュアルアセスメントの方法を学ぶ。	奥田
4	クリニカルソーシャルワーク 専門的自己の活用	フォーマルな自己とインフォーマルな自己を理解する。	奥田
5	クリニカルスキル 認知行動療法	認知行動療法の諸理論、発展に関する歴史的経緯を学ぶ。	奥田
6	クリニカルスキル 認知行動療法	認知行動療法の実際を事例を通じて学ぶ。	奥田
7	クリニカルスキル グループワーク	ソーシャルワークグループの歴史的変遷 グループワークの重要性を理解する。	奥田
8	クリニカルスキル SST	SSTをメンタルヘルスの実践の現場で実施してるソーシャルワーカーについて理解を深める。	三浦由佳（特別補助） 奥田
9	クリニカルスキル グループワーク SST	ロールプレイを使ってSSTのグループファシリテーションスキルを学ぶ。	奥田
10	クリニカルスキル 対話実践：ナラティブアプローチ	ナラティブアプローチの歴史的発展、種類について学ぶ。	奥田
11	クリニカルスキル 対話実践：オープンダイアローグ	オープンダイアローグの誕生の背景、原則を学ぶ。	奥田
12	クリニカルスキル 対話実践：オープンダイアローグ	リスニングワーク、リフレクティングワークの実際をロールプレイを通じて学ぶ。	奥田
13	クリニカルスキル 対話実践：当事者研究	対話実践 当事者研究の誕生、理念について理解する。	奥田
14	クリニカルスキル 対話実践：当事者研究	対話実践 ファシリテーションスキル、ソーシャルワーカーの態度について学ぶ。ロールプレイを用いてグループファシリテーションを実際に行い、スキルを習得する。	奥田
15	プレゼンテーション&まとめ	本科目で特に関心を持った療法に関する理論的背景を	奥田

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		調べ、発表する。	

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

参加態度 40% レポート課題 30% グループプレゼンテーション 30%

【学修の準備】

- ・授業内で配布する資料について事前に読んでくること(2時間)。
- ・復習として授業後は教科書や配布レジュメ等を用いて要点整理を行い、分からない点については次回の授業までに自分で調べるもしくは担当教員に確認すること(2時間)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP3 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

【実務経験】

ソーシャルワーカー

【実務経験を活かした教育内容】

ソーシャルワーカーとしての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な演習を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している